

【4】中流維持と下方志向

許容生活レベルの世代差

許容生活レベルには、世代によってどのような差があるのだろうか。

中の中以上の生活レベルしか許容できないとするものを「中流維持」、下の生活レベルを許容するものを「下方志向」として世代ごとの違いをみたのが以下の図である。「中流維持」はエイティーズ、新人類ジュニアで高く、「下方志向」は団塊ジュニア、団塊世代で高いという特徴がみられた。

また、許容生活レベルごとに「収入が減っても時間のゆとりのある生活をしたい」という意識をみてみると、許容生活レベルが「上」の人では「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」が高いのに対し、「下」の人では「非常にそう思う」「まあそう思う」が高くなっている。許容生活レベルの低い人ほど、収入を重視しない価値意識をもっていることが確認できる。

このような許容生活レベル意識の差はどうして生じてくるのだろうか。次の頁でその背景を探ってみる。

図表2 - 13. 許容生活レベルの世代差

